



事務所 伊那市西町5016-2 Tel(72)0077 例会日 毎週木曜日 会場くぬぎの杜 Tel(78)1121
 会長 荒木康雄 幹事 向山賢悟 会報委員長 唐木 拓 第2963回 例会2022.7.14 No.1623



2022-23 年度 RI テーマ

Serve to change lives

ソング 我等の生業**会長談話** 荒木康雄会長

初めに、過日逝去されました安倍晋三元総理の政治家としての多大なるご功績に敬意を表し、心から哀悼の意を表しますと共に、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



安倍元総理の功績が偉大なるものの一つとして、東京オリンピック・パラリンピックがあります。丁度一年前の今月 23 日に東京オリンピックが開幕しました。ロゴマークの変更、国立競技場の設計見直し、コロナ禍で一年延期、無観客開催等、ハプニングの多いオリンピックでしたが、日本は過去最多のメダルを獲得し、コロナ禍の閉塞感が続く中で、私たちに大きな感動を与えてくれました。

先月 6 月末日に、そのオリンピック組織委員会が解散しました。橋本聖子会長はその解散に当たり、「森会長がいたからこそ組織委員会は前に進むことができた」と述懐しています。森喜朗元会長と言うと「女性が沢山入っている会議は時間がかかる」などの発言が問題になり辞任に至りましたが、そこには所謂「無意識の偏見」があったのではないかとされています。

最近「無意識の偏ったモノの見方や思い込み」のことを、『アンコンシャス・バイアス』と呼び、それらを無くしていこうという気運が高まっています。アンコンシャス・バイアスは、先入観や固定概念、慣習、常識への固執などによって生じ、誰もが少なからず持っているもので、何気ない発言や行動として現れます。例えば、次の職業を聞いて皆さんはどの様なイメージが浮かびますか？「消防士」→筋肉質で運動神経がよさそうな人？「看護師」→白衣を着た

優しそうな女性？ このように、脳は瞬時に物事を無意識に紐づけてすばやく理解しようとします。アンコンシャス・バイアスは「高速思考」とも言え、大量の情報を処理し大枠で物事を理解し判断することが可能となり、素早く行動するためには欠かせないものでもあります。従って、それ自体が必ずしも悪影響を与える訳ではありませんが、それが偏見や差別その他につながれば様々な悪影響を及ぼすことになるので気を付けなければなりません。

さて、本年度 RI 会長のジェニファー・ジョーンズ氏は、ロータリーの「DEI に関する声明」の重要性に言及しています。1つ目がダイバーシティ「多様性」であり、2つ目がイクイティ「公平さ」で、3つ目が「インクルージョン」包括性です。私は「多様性ある色々な人たちが集まり、全員が公平な立場で、一人ひとりの存在が重んじられ活動できる、誰もが居心地の良いロータリーであること」と解釈しています。

今、世の中は急速に多様化し、新たな秩序を生み出そうとしています。ロータリーの DEI について考え、理解を深め実行するためにも、まずは最近話題の「アンコンシャス・バイアス」についての知識や対応法について考えたいものです。

ご挨拶 箕輪 RC 会長 荻原直己様

2013 年入会。在籍 9 年です。当初はあまり出席できませんでしたが、会長エレクト、会長となり現在は皆勤賞です。職業奉仕を重んじ、会員相互の関係を円滑に進めております。社会奉仕においては、ロータリー活動はもちろんのこと、みのわ祭り、信州室内オーケストラの実行委員長も務めております。楽しい一年にし、地域の交流、ロータリー



デーには一緒に頑張りたいと思います。一年間よろしくお願い致します。

箕輪 RC 幹事 征矢和夫様

ロータリー歴6年。職業分類は、農業。農業者もロータリーの会員にと誘われ入会しました。上伊那には、49の農業法人があり、本年度は箕輪の農業法人の理事長を務めております。

昭和27年生まれの70歳になります。上農高校の卒業で、駅伝の全国大会には後輩の伊藤国光選手と出場し、宗兄弟とも走りました。来年3月にあるI.Mの準備を今から進めております。何かとお世話になりますが、よろしくお願い致します。

伊那中央 RC 会長 平澤 理様

ロータリー歴は9年。平成25年に入会しました。当初はロータリーのことをよくわかりませんでした。親睦旅行を機にロータリーの楽しさを知りました。職業分類は教諭です。コロナ禍でなかなかスムーズな例会が出来ず、伊那 RC ともここ数年合同例会がありませんので、今年こそは行えればと願っております。伊那 RC の益々のご発展をお祈りし、一年間よろしくお願い致します。

伊那中央 RC 幹事 杉本徳治様

ロータリー歴は、辰野ロータリーからですので40年になります。伊那に会社を移して3年目になります。幹事の仕事は、非常に厳しく難しいものだと感じております。年齢や諸事情により例会に出席できない会員が数名います。それらの会員を訪ね、クラブの状況等を伝えたところ、大変喜ばれました。今年度一年間、仲間たちに情報伝達をしっかりと行いたいと思います。一年間よろしくお願い致します。

幹事報告 別紙をご覧ください。

委員会報告 7月号「ロータリーの友」紹介

下枝正一副会長

横組み P6~7 RI 会長のメッセージ
P8~19 ジェニファー・ジョーンズ
RI 会長の紹介。P29 第2600地区上
沢広光ガバナーの紹介。縦組み P4~
8 スピーチ「ポストコロナの生命哲
学」青山学院大学教授福岡伸一氏記念公演要旨
P9~12 この人を訪ねて 青森 RC 石川桂共子氏。



出席報告 会員数55名 内出席免除19名
出席者35名 事前メーキャップ2名 出席81.39%

ニコニコボックス

- ・荒木康雄・向山賢悟
本日はようこそお越し下さいました。心から歓迎致します。
- ・箕輪 RC 荻原様、征矢様 本日はお邪魔致します。
- ・藤澤秀敬 ゴルフコンペへの大勢のご参加ありがとうございました。
- ・第62期、63期の役員・理事一同
- ・ゴルフコンペ上位入賞者

委員会事業計画発表

クラブ管理運営委員会 登内豊明委員長

1.方針

会員の皆様が例会に出席し、交流を持てるよう出席率の向上に努める。ニコニコボックスについて気軽に利用できる環境づくりに努力するとともに、年度目標を出来る限り達成できるよう協力を依頼する。委員同士協力し合い、受付とニコニコボックスの発表がスムーズに行えるような委員会運営を目指します。

2.計画

- ①会員の皆様に、出席率向上のため、出欠席連絡の徹底と、直前に出席できなくなった場合の事務局への連絡にご協力いただき無断欠席を無くす。
- ②ニコニコボックスの年間目標を理解いただき、協力をお願いする。
- ③気軽にニコニコボックスへの入金ができるような雰囲気づくりをしていく。
- ④例会に出席できなくても、ニコニコボックスに入金出来るような仕組みを考える。

クラブ会報委員会 唐木 拓委員長

1.方針

- ①ロータリーの活動、各委員会の活動等を「会報」により会員に周知する。またクラブの年間活動記録として保存する。
- ②クラブの精神および活動を地域に広く知ってもらうよう、広報活動を行う。

2.計画

- ①クラブの例会、イベントの活動取材し、記録として保存する。
- ②毎週2人の担当者(主・副)を定める。
- ③会報は原則として次週例会までに発行する。
- ④会報はメールで配信するか、例会時に配布する。
- ⑤マスメディア・SNSを活用し、ロータリー活動等の情報を広報する。



⑥ガバナー月信、ロータリーの友への投稿を推進する。

会員増強委員会 鈴木正比古委員長

1. 方針

クラブの継続的発展のため、クラブ会長 RI2600 地区ガバナーの掲げた目標に達するべく、全会員の協力を仰ぎ会員 2 名の純増を目指す。

2. 計画

- ①クラブフォーラム（会員増強・拡大 8 月 4 日予定）にて新会員候補者リストの進捗状況確認・見直しと新規候補者の補填を行う。
- ②若い世代・女性会員の増強を推進する。
- ③クラブ行事に積極的に参加し、会員維持活動・新規会員の交流促進に努める。
- ④他委員会とも連携し、クラブ奉仕活動・親睦活動を対外的に情報発信することにより、クラブの認知度向上に努める。



親睦活動委員会 大石ひとみ委員長

1. 方針

会員ならびに家族の皆様との親睦を深めるために家族会の事業を計画し、親睦活動委員会の皆様と共に協力し実行致します。会員ならびにご家族の皆様にも多数参加していただくため、楽しく有意義な時間を過ごしていただけますよう、内容を充実させ実行致します。

（新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら実行致します。）

2. 計画

- ① 納涼例会
- ② 年末家族会
- ③ 観桜会

情報・プログラム委員会 小松献臣委員長

1. 方針

コロナ感染状況を見ながら、例会が楽しく有意義なものになるように卓話・IGM・新入会員の入会事前説明会を計画実行する。

2. 計画

- ①卓話は、新入会員の卓話をはじめ、本年の会長方針に基づき幅広い方々を人選すると共に会員による卓話（仕事の話、ロータリーメモリー、趣味の話等）を例会時に実行する。IT の活用も検討する。
- ②IGM（インフォームド・グループ・ミーティング）を今期中に 2 回開催し、会員相互の意見交と友情を深めるとともに、それを通じてクラブの活性化を図る。
- ③ 新入会員の入会事前説明会を実施する。
- ③ 前年度に実施できなかった新入会員も含め



て夫人同伴集会（インフォーマル・ミーティング）を開催し、ロータリーの理解と協力、親睦を図る。

国際奉仕・財団委員会 赤羽弘之委員長

1. 方針

（向山幹事代読）

ロータリー財団と米山記念奨学会の意義・目的を理解し、それぞれの寄付の増進と目標達成を図ります。

1. 計画

- ① クラブフォーラムを担当し、国際奉仕・財団・米山への理解を深める。
- ② 財団年次基金への寄付一人平均 150 ドル以上
- ③ ポリオプラス基金への寄付一人平均 30 ドル以上
- ④ ロータリー平和センターへの寄付一人平均 500 円以上
- ⑤ 恒久基金への寄付
- ⑥ 米山記念奨学会への寄付
- ⑦ 関連する地区セミナーへの参加
- ⑧ R 財団地区補助金事業「信州伊那中尾歌舞伎伊那ロータリー特別公演-青少年に伝えたい地域伝承芸能」の担当実施

職業・社会奉仕委員会 城取健太委員長

1. 方針

「ロータリアンの職業宣言」に基づき自らの職業活動を通して社会の模範となるよう努力する。

クラブ・会員個人として地域社会にロータリーの「奉仕の理想」を実践し行動を支援する。

2. 計画

- ① 毎月例会にて「四つのテスト」の唱和を行う。
- ② 職場例会を実施する。
- ③ 薬物乱用根絶「ダメ。ゼッタイ」緑の募金等に協力する。
- ④ 伊那弥生が丘高校キャリア教育授業への協力をを行う。
- ⑤ ボーイスカウト野営場「希望の森」での植林と伐採整備を行う。
- ⑥ クラブフォーラム（職業奉仕月間）を担当する。
- ⑦ ロータリー奉仕デーに協力する。

青少年奉仕委員会 唐澤洋祐委員長

1. 方針

将来を担う青少年の健全育成を目的とし自己の人間的、職業的、社会的成長を支援する。

2. 計画

- ① 「ボーイスカウト伊那第 1 団」の活動支援と交流
- ② 「伊那ロータリー杯」野球大会を主催し、例会とする。大会を通じて中学生対象の青少年育成活動への理解を深める。
- ③ 「信州伊那中尾歌舞伎」伊那ロータリー特別公演の活動支援。

